なか議会だより

2025
8.4
Vol.86

TOPICS

こんなことが決まりました
議案などの審議結果

一般質問

議会活動レポート

特 集

きっかけは 心が躍ったから

STUDIO　MILA所属
ダンサー佐藤花音さん

那珂市議会広報編集委員会

INTERVIEW　インタビュー

どのような姿が人の心を動かすのか

―努力は絶対に無駄にならない―

STUDIO　MILA　所属

佐藤（さとう）　花音（かのん）　さん

菅谷西小・那珂一中出身　18歳

小学１年生の時に、友人の発表会を見てダンス教室に通い始める。

数々のイベントのオープニングやテレビ番組にも出演。今年１月にはドバイのテーマパークで海外公演を実施するなど世界的にも活躍。後進の指導も行いながら、振付師を目指し奮闘中。

ダンスを始めたきっかけは。

小学1年生になってどの習い事をしようか悩んでいた時、初めて見学に行ったのがダンスだったことと、友達のダンスの発表会を見に行って、心が踊ったことがきっかけです。最初はヒップホップ、小学4年生からジャズを始めました。

普段はどんな練習をしていますか。

那珂市のダンススクールに週2～3回通っています。また、東京では、全国から集まった人たちと一緒に練習しています。

自宅でも毎日練習していますが、鏡に向かって、自分の一番かっこいい姿はどこか、どのような姿が人の心を動かせるかをいつも考えながら、踊っています。

ダンスで苦労したことは。

小学生から中学生に環境が変わっていき、以前と同じようにダンスに打ち込めなくなってしまった時期がありました。

また、スランプに入ってしまい、なかなか思うように体が動かなかったり、自分の踊りが好きじゃなくなったりしたこともありました。

その時は、一旦レッスンをお休みして、ＳＮＳなどでいろいろな人のダンスを見て踊りたくなったら踊るということをよくしていました。

今までどんな場所で公演を行いましたか。

日本だと式典のオープニングなどです。

先日は、ＴＢＳの生放送『その道のプロが選ぶ本当のNo.1プロフェッショナルランキング』に出演したり、今年１月には、ドバイに

行ったりしました。グローバル・ビレッジという冬のシーズン限定で開催される巨大屋外イベントで、1か月間ほとんど毎日公演を行いました。

海外での公演を経験して思うことは。

日本ではなかなか味わえない海外公演ならではの演出の奇抜さなどに圧倒されました。

また、さまざまな国の方と出会ったことで、コミュニケーションの幅がとても広がりました。海外の友達も出来て、嬉しい経験もたくさんありました。

ダンスにどんなやりがいを感じますか。

見てくれた人や、支えてくれている人、身近な人などに自分のダンスを褒めてもらったり、自分よりも後の世代の人達に目標にしていると言ってもらえたりした時は、とてもやりがいを感じますし、嬉しいです。

また、制作して、自分の踊りを踊ってもらう事が好きなので、自分の作品を生徒たちが踊っているのを見ると、とてもやりがいを感じます。

今一番楽しいことは。

ダンスです。その中でも、教えるのが一番楽しい。

それぞれに合わせた教え方というのはとても難しいのですが、みんなの貴重な時間をどれだけ充実したものにできるかということを考えることも楽しめています。

将来の目標は。

将来は振付師になるのが目標です。これから、振付師のアシスタントとして修行をしていきます。

どんな那珂市になってほしいですか。

東京に通っていることもあるのですが、水郡線の本数を増やしてほしいです。

あと、カフェがほしいです。練習を待つ親御さんたちがゆっくり過ごせる場所があればいいなと思っています。

子どもたちへ伝えたいこと

①自分に与えられた時間を大切に

周りに否定されたって、自分の限りある人生の時間をこれに使いたいと思ったのなら、貫いてほしい。

②努力したという過程が大事

どの分野でも同じで環境やセンスなど、努力ではどうにもならない部分はあるけれども、努力した分は必ず何かが返ってくる。たとえ結果に繋がらなくても。

令和７年第２回定例会

こんなことが決まりました

令和７年第２回定例会は、６月10日（火）から27日（金）までの18日間行いました。

- 市長提出案件　24件
- 請願・陳情　　１件
- 議員提出案件　０件

令和７年定例会・臨時会HP

議案等の審議結果

議案等番号	議　案　等　名	結果
報告４	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	—
報告５	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	—
報告６	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	—
報告７	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	—
報告８	令和６年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告９	令和６年度那珂市下水道事業会計予算繰越計算書について	—
報告10	令和６年度那珂市一般会計継続費繰越計算書について	—
報告11	令和６年度那珂市水道事業会計継続費繰越計算書について	—
報告12	令和６年度那珂市一般会計事故繰越し繰越計算書について	—
議案36	専決処分について（那珂市税条例の一部を改正する条例）	承　認
議案37	専決処分について（那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承　認
議案38	専決処分について（那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承　認
議案39	那珂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案40	那珂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可　決

議案等番号	議　案　等　名	結果
議案41	那珂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案42	那珂市原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案43	那珂市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案44	那珂市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	可　決
議案45	令和７年度那珂市一般会計補正予算（第１号）	可　決
議案46	損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定について	可　決
議案47	市道路線の認定について	可　決
議案48	那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案49	令和７年度那珂市一般会計補正予算（第２号）	可　決
議案50	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意
陳情４	道の駅建設計画に関する市民説明会の充実と計画の透明性確保を求める陳情 那珂市平野　遠藤　秀男	不採択

※請願第４号
学校外民間施設利用者への利用料金一律補助の実現を求める請願は継続審査となりました。

賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等 ※議長（木野広宣議員）は採決に加わりません ○…賛成　×…反対　欠…欠席	1 榊原　一和	2 桑澤　直亨	3 原田　悠嗣	4 木野　広宣	5 鈴木　明子	6 渡邊　勝巳	7 寺門　勲	8 小池　正夫	9 小宅　清史	10 大和田和男	11 冨山　豪	12 花島　進	13 寺門　厚	14 萩谷　俊行	15 笹島　猛	16 君嶋　寿男	17 遠藤　実	18 福田耕四郎	結果
議案第45号 令和７年度那珂市一般会計補正予算（第１号）	○	○	×	－	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可　決
議案第47号 市道路線の認定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可　決
陳情第４号 道の駅建設計画に関する市民説明会の充実と計画の透明性確保を求める陳情	×	×	○	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	不採択

▶議案第45号は、予防接種事業、債務負担行為の図書館システムリースに反対討論がありました。

全員協議会　市から議会に報告がありました

図書館システムの更新について

市立図書館では、５年ごとにシステムの更新を行っており、今年度が賃貸借契約の最終年となります。近年は、多様な機能を持つシステムを採用する図書館が増えており、次期システムは、事業者提案による公募型プロポーザル方式により、事業者を選定します。

質疑応答

Q　手のひら認証に不便はないと聞いているが、なぜ、プロポーザル方式にするのか。

A　手のひら認証が便利だということも聞いているが、近隣の図書館では、機能が多様化している。本市においても、様々な機能の提案をもらうため、プロポーザルを実施する。

Q　現在の手のひら認証か、その他の認証かどちらかを取り入れるということか。

A　事業者の提案によるが、本市としては、利用者のサービス向上を図るため、プロポーザル方式により、広く提案を募りたい。

※プロポーザル方式…自治体が事業の発注先を選ぶ際に、価格だけでなく提案内容や企業の技術力、実績などを総合的に評価して最適な事業者を選定する方式。

全員協議会　市から議会に報告がありました

可燃ごみ指定袋の変更について

令和８年４月１日から、プラスチック製容器包装の分別収集開始を契機に、ごみ分別・減量化への意識向上を目的に、可燃ごみ指定袋のデザインと価格が改定されます。

可燃ごみ指定袋の料金改定表

区分	現行	R8年4月から	備考
４５リットル	１枚　１５円（税抜）	１枚　３０円（税抜）	改定
３０リットル	－	１枚　２０円（税抜）	新設
２０リットル	１枚　１２円（税抜）	１枚　１３円（税抜）	改定

変更内容

・可燃ごみ指定袋の色及びデザインの変更
・30リットル可燃ごみ指定袋の新設
・新価格の設定

現行の可燃ごみ指定袋の取扱い

・販売期限　令和８年３月31日まで
・使用期限　令和８年５月31日まで

新可燃ごみ指定袋販売開始

・販売開始　令和８年４月１日から

令和８年４月１日からの収集の変更点

種類	燃やすしかないごみ	製品プラスチック	プラスチック製容器包装	発泡スチロール（緩衝材）	食品トレイ	ペットボトル
例	ティッシュ おむつ 枝木 汚れた紙 など	ハンガー 歯ブラシ スプーン バケツ 定規 など	ラベル たまごパック 洗剤ボトル 惣菜容器 など	家電緩衝材 など	生鮮食品用 など	飲料 特定調味料
現行	【排出】可燃ごみ指定袋（緑色） 【収集】市委託業者			【排出】資源ごみ指定袋（黄色） 【収集】環境センター委託業者		
R8年4月から	【排出】可燃ごみ指定袋（色・デザイン変更予定） 【収集】市委託業者	【排出】透明袋（指定なし） 【収集】市委託業者（プラスチック製容器包装）				【排出】透明袋（指定なし） 【収集】環境センター委託業者

※資源ごみ指定袋（黄色）は、令和８年３月31日をもって販売終了し、使用期限は令和９年３月31日までとします。
→発泡スチロール（緩衝材）及び食品トレイは、プラスチック製容器包装として収集します。
→ペットボトルは素材が違うため、プラスチック製容器包装とは別に収集します。

一般質問 Q&A

《質問者　12名》

P 8 **渡邊　勝巳 議員**
◇生活基盤の整備について
◇市街地の整備について
◇働く場所や機会の確保について

P 8 **遠藤　　実 議員**
◇企業誘致の推進について
◇交通弱者対策の充実について
◇熱中症対策の改善について

P 9 **花島　　進 議員**
◇額田地区の市道整備について
◇菅谷地区と寄居地区の境界周辺の雨水排水対策について
◇地籍再調査について
◇自治組織への街灯関連補助について
◇日本原電、東海第２原発の能力について
◇高等教育への補助について
◇周辺地域の活性化策について
◇額田城跡について
◇小学校、中学校のタブレットの更新について

P 9 **榊原　一和 議員**
◇空き家問題を潜考する

P 10 **大和田　和男 議員**
◇包括連携協定について
◇子どもの居場所について考える

P 10 **小宅　清史 議員**
◇那珂インター周辺開発について考える
◇都市計画費の拡充について考える
◇独居世帯および生活保護世帯の対応について考える
◇月曜日の公共施設の利用について考える

P 11 **冨山　　豪 議員**
◇防災行政無線について
◇有害鳥獣の捕獲について

P 11 **鈴木　明子 議員**
◇ひきこもり状態で困難を感じている方の支援について
◇パートナーシップ宣誓制度の取り組みについて
◇伝わりやすい情報発信について

P 12 **笹島　　猛 議員**
◇那珂市のマスコミ対応について
◇救急医療体制について

P 12 **原田　悠嗣 議員**
◇瓜連庁舎及び分庁舎について
◇道の駅について
◇まちづくりについて

P 13 **寺門　　厚 議員**
◇那珂市のごみ処理行政について
◇熱中症対策強化について
◇５歳児健診について

P 13 **桑澤　直亨 議員**
◇道の駅が必要とされる理由と成功に向けた取り組みについて

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

渡邊　勝巳 議員

市内の第2次産業に対する就業支援は行っているか

求人情報の広報等を行っています

Q　那珂市内の製造業や建設業といった第2次産業でも働き手や担い手が不足しています。この対応策として何を行っていますか。

A　**産業部長**　ハローワーク等の関係機関と連携し、求人情報の広報等を行っています。

Q　農業就業者への就業支援に対し、第2次産業への支援策が乏しく感じます。例えば建設業ですと、「きつい・危険・汚い」といったイメージがあります。そこで、働き手を確保するため、週休二日制など働き方改革や、快適なトイレなど工事現場の環境改善等が必要となりますが、これらを行うことを考慮した工事の発注は行っていますか。

A　**企画部長**　国や県は実施していますが、本市ではまだ導入していません。

Q　災害からの復旧や上下水道などのライフラインの更新等には建設業者が不可欠となります。しかし、担い手や働き手不足による建設業の減少や衰退は、安全安心な市民生活を脅かす恐れがあります。そこで、市民のために災害協定を締結した企業等に対し、工事発注の際の優遇策はありますか。

A　**企画部長**　総合評価方式による入札において、落札者決定基準の評価項目に、災害協定の締結の有無を設け、災害協定を締結している場合に加点しています。

議員のひとこと
農業以外の担い手、働き手不足に対する支援も望みます。

遠藤　実 議員

交通弱者のため、サイクルトレインのさらなる運用を

利便性向上に向けた要望を行う

Q　那珂市にはＪＲの駅が９つもあり、この社会的インフラをもっと活用してサイクルトレインを運用してはいかがですか。これは、地域の交通弱者のためにも、鉄道の車両に自転車をそのまま乗せて移動できる仕組みのことです。例えば額田駅から自転車をそのまま乗せて移動して上菅谷駅で降り近くの病院やスーパーに買い物に行き、帰りも額田駅まで移動してから自分の家まで自転車に乗って帰る、ということが出来れば本当に便利だと思います。群馬県の上毛電気鉄道など全国的にも多くの実施例があり、相当数の利用者があるようです。このように交通弱者が住み続けやすい具体的な施策を推進していただきたいが、どうですか。

A　**建設部長**　サイクルトレインは、事前登録をした上で、土曜日及び休日に上菅谷駅以北の全ての駅で乗降可能です。また、上菅谷駅から水戸駅間への運行拡大について茨城県を通してＪＲに要望しています。今後も、水郡線沿線の市町村や茨城県と共にサイクルトレインの利便性向上に向けた提案や要望をしていきます。

A　**市長**　必要に応じて新たな仕組みづくりを取り入れながら、日常生活を支える交通手段の維持確保に努めていきます。

議員のひとこと
サイクルトレインに自転車を持ち込めると便利ですね。

花島　進　議員

東海第２の技術力をどう見ていますか

技術力の向上が求められます

Q　原子力には、高い信頼性が求められます。しかし東海第２の技術力は、原子力に必要な水準ではないと感じています。２点ほど述べます。

　過去２年間、多くの火災が認定される中、今年２月４日に起きた中央制御室内の火災が重大です。圧力容器に出し入れする中性子計測系の案内管とケーブルを切断して塞ぐバルブがあります。その火薬に点火する装置が、制御室内で発火しました。０・５Ａのヒューズを10Ａのヒューズに交換して動作させ、火災になりました。定格20倍のヒューズに交換した背景には、元の設計に間違いがあったと考えます。

　取水口基礎の施工不良問題では、最下部の鉄筋配置ミスに気がついたはずなのに、コンクリートを打設し、さらにその上の層まで施工しました。対応策は、いまだに規制機関に承認されていません。

　弱点だらけの東海第２原発について、再稼働の可否に那珂市の判断が関係します。技術力をどう見ていますか。

A　**市民生活部長**　ヒューマンエラーによる事象が発生しているため、今後も作業管理に関する理解不足の解消に努め、技術能力の向上を図っていただくことが大切だと考えます。

議員のひとこと
東海第２には原発に必要な技術力がありません。

榊原　一和　議員

本市として、今後注力する空き家対策の方向性は

指導や利活用の啓発をしていく

Q　空家等対策の推進に関する特別措置法では、管理不全空家等への対応が強化されるなど、自治体の役割が拡大しています。それに伴い、空き家所有者への啓発活動や適切な管理を促す仕組みの強化が必要ですが空家対策計画における基本方針はどのようか。

A　**建設部長**　適正な管理の促進と、空き家等の発生の抑制により、快適な住環境の保全を目指し、安全安心なまちづくりを推進することです。また、空き家バンク制度により、空き家を利活用することで移住・定住を促進することです。

Q　人口減少が進む本市では、放置された空き家の増加、環境悪化や地域活力の低下につながることが懸念されている事と思います。空き家問題を重要な課題と位置づけ、適切な対策を講じることは、地域の安全・魅力向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを方向付けるべきと考えます。市の、今後注力する空き家対策の方向性を伺います。

A　**建設部長**　個人の財産である空き家は、所有者が適正に管理すべきものになります。市では、地域住民からの情報等を基に、空き家の状況を迅速に把握し、所有者に対して管理不全空家となる前の早めの段階での指導や利活用に向けての啓発に努めていきます。

議員のひとこと
この問題を契機に、縮退受容の価値観に深い議論を。

大和田　和男 議員

子どもの居場所づくりに対して連携を

円滑な事業が実施できるよう連携する

Q　道の駅に全天候型プレイゾーンが出来ようとしています。そこに子育て支援センター等の機能移転も考察されます。そのような中子育て支援センターつぼみの老朽化が見られます。今後どうするのか伺います。

A　保健福祉部長　現在の建物は築46年が経過し、計画的な修繕を進めながら活用しています。今後は国の子育て施策の動向などを踏まえ方向性を考えます。

Q　道の駅に子育て施設を付設することを良しとしても、市内に住む子育て家庭の身近な居場所整備を同時に進めていくべきです。宮の池公園をインクルーシブな公園に整備、新しいスポーツ文化の振興を図るうえでのスケートパークやバスケットゴールの整備など市の魅力向上につながる整備を期待します。しかし今はこの施設も老朽化が見られます。どうするのか。

A　建設部長　魅力向上につながる取り組みが必要なことは認識しています。しかし現時点では適宜点検、修繕を実施し市民の憩いの場を維持していきます。

Q　那珂市こども食堂ネットワークが構成され、市内では毎週どこかでこども食堂が開催されています。行政の支援はできませんか。

A　保健福祉部長　円滑な事業の実施ができるよう連携し、支援します。

議員のひとこと
道の駅整備も市民の福祉向上も最優先課題です。

小宅　清史 議員

公共施設の月曜日開館を

今後判断

Q　那珂市には5つのコミュニティセンターがありますが、月曜日がすべて休館日となっており、地域団体から「週の初めに活動ができず不便」との声が寄せられています。
　1館だけでも月曜日を開館日とし、他曜日とのローテーションなどの検討も含めた試験運用をしてみませんか。

A　市民生活部長　一年を通して同一曜日で活動をしている団体と、施設内にあるまちづくり委員会事務局が、施設休館日の曜日を変更することで活動などに影響が生じないかを、活動団体及びまちづくり委員会に対して、意見交換、意向調査しながら判断をしていきたいと考えます。

Q　図書館の月曜開館には新たな人件費をかけるのではなく、たとえばセルフ方式の限定開館、ボランティア協力など、柔軟な工夫で実現できる可能性があると考えます。月曜開館の実現可能性について検討するために、まずは実験的に行ってみてはどうでしょうか。

A　教育部長　月曜日の開館については、災害時等の安全面、盗難等のリスクもあり現状の必要最小限での職員数及び勤務体制においては難しいと考えています。

議員のひとこと
新たなICTの活用で月曜開館を実現していただきたい。

冨山　豪 議員

有害鳥獣捕獲隊員への委託契約金の上積み検討を

引き続きの調整が必要です

Q　有害鳥獣捕獲隊の平均年齢は73歳であり、すでに高齢化にある状態です。5年後、10年後を考えると組織の存続自体が心配されると思いますが、市の考えを伺います。

A　産業部長　指摘のとおり、高齢化に伴う担い手不足を懸念しています。まずは、他市町村の対応状況等について調査を行うなど、担い手確保の施策について考えていきます。

Q　数年前に行われた契約内容の見直しで、業務すべてを隊員自身が責任を持って行うようになり、結果としてその業務は大きく増えたということです。また、捕獲に使う罠や猟具も自己責任となり、修理等に使う部材購入費が負担となっているそうです。さらに、捕獲にあたる日々の見回りに費やす時間も増えてきており、それに伴い車の燃料代も大きく増えてきているとのことです。次世代に繋ぐためにも、現隊員の維持のためにも、負担軽減を図らなければと考えます。そこで委託契約金の上積みを考えていただきたいと思いますが、市の考えを伺います。

A　産業部長　有害鳥獣の捕獲は、捕獲隊の協力によって成り立っている事業です。捕獲隊からも要望をいただいていますので、引き続きの調整が必要であると考えています。

議員のひとこと
次世代のため、現隊員の維持のためにも負担軽減策を。

鈴木　明子 議員

一人一人に寄り添ったひきこもり支援について

相談の質の向上に努めます

Q　ひきこもりとは、社会的に孤立し、孤独を感じている状態にある人や、様々な生きづらさを抱えている状態の人とされていますが、そのような状況の方の割合を教えてください。

A　保健福祉部長　年齢差はなく、約50人に1人という推計となっています。

Q　どのような支援をしていますか。

A　保健福祉部長　相談をとおして、就労支援、ボランティア活動、居場所支援、家族会の案内などを行っています。

Q　寄り添った支援につなげるため、相談の質の向上についてはいかがですか。

A　保健福祉部長　年3回程度、事例検討研修会を行っています。また、国や県が実施する研修などに参加しています。

Q　検討会は、支援スタッフへのサポートを密に行うことができ、気づきや理解を深め、より良い支援へとつながると考えます。回数も含め、内容をより充実させてください。相談窓口の周知は、どのようにしていますか。

A　保健福祉部長　ホームページや、「那珂市のふくし」での案内、また、パンフレットを公共施設や関係機関等に配置し、日常生活で少しでも気になることがある方が手に取ることができるようにしています。

議員のひとこと
定期的な検討会の実施や周知の充実を。

笹島　猛　議員

救急搬送時の滞在時間が長すぎるという声を聞くが

滞在時間短縮に向けて努力します

Q　救急医療体制については、医師確保対策、救急搬送、マイナ保険証の活用など、様々な課題があります。

救急搬送については、救急車が現場に到着してから病院搬送まで時間が長すぎるという声が聞かれます。

救急出場における現場滞在時間を伺います。

A　消防長　救急出場における現場滞在時間は、過去3年間の平均で約24分です。

Q　滞在時間が長くなる理由、件数を伺います。

A　消防長　受け入れ不能の件数は、合計で２４２７件となっており、主な内訳は、処置困難８１４件、専門外４７９件、手術中・患者対応中２９６件となっています。また、発熱を伴う傷病者や夜間・休日の場合に特に受け入れ困難となる傾向にあります。

Q　救急車は本人の何らかの症状があって呼ぶものです。搬送先の病院が見つからなくて、現場で長く滞在せざるを得ないということは、命にかかわる問題となります。消防本部の今後の対応を伺います。

A　消防長　現場滞在時間が長くなる要因は、病院への問い合わせ時間や時間帯などいくつかありますが、救急車へ収容前に現場での救命処置が必要な場合もあります。今後も、滞在時間の短縮に向けてさらに努力します。

議員のひとこと
救急搬送時の滞在時間の長さは命にかかわる問題です。

原田　悠嗣　議員

道の駅が市の財政負担となったら責任は誰が負うのか

市も応分のリスクを共有する

Q　道の駅運営が恒常的な市の財政負担となった際は、誰が責任を負うのですか。

A　産業部長　道の駅の運営リスクについては、指定管理を担う第三セクターが主に負担するものの、当然ながら市も応分のリスクを共有するものとなりますので、引き続き第三セクター設立準備委員会において協議を行っていきます。

Q　基本計画で経費として計上されていた建築物保守管理業務費、建築設備保守管理業務費、外構等維持管理業務費、環境衛生・清掃業務費、警備保安業務費などは、概算で毎年いくらになりますか。

A　産業部長　今年度の実施設計を踏まえ、具体的な維持管理費等を精査していくことから、申し訳ありませんが、現時点では具体的な費用をお答えすることはできません。

Q　道の駅運営において、市が支払う指定管理料のほうが市が受け取る納付金よりも多くなり、市の財政を圧迫することは１００％無いと言えますか。

A　産業部長　今年度の実施設計を踏まえ、リスク管理などについても第三セクター設立準備委員会において協議を行い、道の駅の運営が健全なものとなるよう引き続き取り組んでいきます。

議員のひとこと
指定管理料や経費の概算を市民や議会に説明するべき。

寺門　厚 議員

本市でも5歳児健診を早期に実施をしてはどうか

早期に実施できるよう準備を開始

Q　本市は5歳児健診をどのように考えていますか。

A　保健福祉部長　5歳は言語理解能力や社会性が高まり、発達障がいが認知される時期です。発達の特性にあった保健・医療・福祉の連携による対応が、その後の成長・発達に影響を及ぼすと言われており、本市でも5歳児を対象とした健康診査の重要性を認識しています。

Q　現在、小学校入学の半年前に就学時健診が実施されていますが、その時発達障がいが分かっても、症状の改善につなげるには時間がなく、また進路選択や学校側の受け入れ体制の準備時間が足りません。また、市内の保育士や保護者の方から、5歳児健診を早く実施して欲しいとの要望をお聞きしています。そこで、本市の5歳児健診を早期に実施して欲しいのですがいかがですか。

A　保健福祉部長　本市では、5歳児健診の実施にあたり、医師や心理相談員等専門的な人材の確保が課題です。そのため、先月、先行実施の自治体への視察を行い、実施体制の整備等について調査を始めたところです。本市としても、今後早期に実施できるよう準備を進めていきます。

議員のひとこと
諸課題解決し、令和8年度から実施していただきたい。

桑澤　直亨 議員

那珂市に道の駅が必要とされる理由について

農業や特産品開発への投資に繋がる

Q　近年の企業誘致の取り組み内容と成果は。

A　企画部長　固定資産税の減免措置や電気料金の補助などを行っています。成果としては、直近4年間で市内10か所の企業立地がありましたが依然として少ない状況が続いています。

Q　企業誘致が思うように進まない主な要因をどのように捉えていますか。

A　企画部長　一般論として首都圏に近い県南、県西エリアでインフラが整備された安価な産業用地が供給されている現状があり、本市の位置するエリアにまで企業の進出意欲が及びにくい状況にあることです。

Q　持続可能なまちづくりを進めていく上で財政基盤の強化は欠かせません。企業誘致が思うように進まない現実を考慮すれば、基幹産業である農業の活性化とふるさと納税につながる特産品のブランド力向上は極めて重要です。新規就農や規模拡大を促すと同時に、特産品の開発・知名度アップを実現させていくために最も大切な要素は何だと考えていますか。

A　産業部長　安定して長期的に出荷できる場所があること、特産品を一体的かつ継続的に展示、販売できるような場所があることが安心して生産に取り組める重要な要素であると考えています。

議員のひとこと
企業誘致は不利であっても道の駅には地の利がある。

その他の

議会活動レポート

議会が開かれていないときも、各委員会で調査をしたり、
全議員で勉強したりしています。
今号は、その中から５つをご紹介します。

原子力安全対策常任委員会 5/18

原子力について広く意見をいただくため、市民の皆さまの声を聴く会を開催しました。

住民の安全と暮らしを守る立場で動いてほしい、住民投票と市民アンケートの実施を求める、東海第二発電所での火災事案に対する不安の声も寄せられました。

また、稼働できている施設はなぜ稼働できているかなど議会でも勉強し、精査してほしいとの声もあり、さまざまな意見が出ました。

今後も委員会として、知見を深め、議論を重ねていきます。

いただいたご意見は市議会HPに掲載しています

総務生活常任委員会 5/26～5/27

「移住・定住」と「公共施設マネジメント」を調査するために糸魚川市と長野市へ行ってきました。

糸魚川市では地域特性を活かした住民主体の多角的な取り組みが実践されてはいるものの若者の定着、特に若い女性が地元に残れる労働環境の整備が課題となっていました。

また長野市では施設の長寿命化や再配置を進めるにあたり、市民への情報発信を丁寧に行いながら民間のノウハウを活用するなど、より良い公共サービスを目指す数々の取り組みを学ぶことができました。

議員勉強会

5/30

弁護士であり、元流山市総務部総務課政策法務室長の帖佐直美氏を講師にお迎えし、「ハラスメント防止及び議員活動におけるSNSの利用上の注意点」についての勉強会を開催しました。本勉強会では、議員に求められるコンプライアンスやSNS利用時の留意点、ハラスメント防止について、具体的な事例を交えながら、法規に基づいたご講義をいただきました。今回学んだ内容を今後の議員活動にしっかりと生かし、市民の皆さまから信頼される議会運営に努めていきます。

講師　帖佐（ちょうさ）　直美（なおみ）氏

教育厚生常任委員会

6/4

県立那珂高校生徒会の皆さまと「教育」をテーマに議員と語ろう会を開催しました。

意見交換では、進路（進学等）に関する金銭的な不安や、通学時の街路灯設置等の要望、義務教育でのキャリア教育の必要性など、実生活に根ざした率直な声が寄せられました。また、SNSや動画を活用した自主的な学習スタイルにも触れ、日本の将来に対する不安や課題意識も共有されました。

委員会として、良い教育環境づくりに、今後も取り組んでいきます。

産業建設常任委員会

6/6

本市が整備を計画している「道の駅」をテーマに、那珂市商工会の皆さまと、議員と語ろう会を開催しました。

商工会女性部としてローゼルという植物を使った商品開発を行っているが、新商品開発には資金も労力もかかるため、支援を検討していただきたいとの声がありました。また、子どもたちが遊べる場所を、是非充実したものにしてほしいなどの意見があり、「道の駅」を成功に導くためのビジョンなどが議論されました。

2025. 8.4 Vol.86

議会を傍聴しませんか

自由に見たり、聴いたりできるんです

令和７年９月定例会日程（案）

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2 本会議 （開会）	3	4 本会議 （一般質問）	5 本会議 （一般質問など）	6
7	8	9	10	11 総務生活 常任委員会	12 産業建設 常任委員会	13
14	15	16 教育厚生 常任委員会	17 原子力安全対策 常任委員会	18	19 議会運営委員会 全員協議会	20
21	22 本会議 （閉会）	23	24	25	26	27

※会議は、原則として午前10時開会です。

傍聴方法

●本会議の受付所　市役所３階傍聴席前
●各委員会の受付所　市役所２階全員協議会室前
●受付簿に年代及びお住いの地域を記入してから入室

議会映像視聴方法

●本会議、臨時会の様子をライブ配信しています。お手持ちのスマートフォンやパソコンで視聴できます。

請願・陳情の提出

●９月定例会での審議を希望される場合には、８月22日(金)午後５時までに議会事務局へ提出してください。

那珂市議会公式ＳＮＳ

編集後記

朝になるとどこからか響く草刈り機のエンジン音。近所の誰かが青々とした雑草と格闘していると感じる瞬間である。この暑さの中「大変だなぁ」などと考えていると、「うちはいつ刈るの？」の母の声。渋々草刈り機を担ぎ、滝のような汗を流し雑草との暑い熱い戦いが始まる。夏の草刈りは熱中症のリスクが高まり危険です。水分、塩分の補給、涼しい時間での作業をお願いします。

冨山　豪

議会広報編集委員会
委員長　榊原　一和
副委員長　寺門　勲
委員　桑澤　直亨
委員　原田　悠嗣
委員　鈴木　明子
委員　冨山　豪

発行／那珂市議会　編集／議会広報編集委員会　〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5
TEL 029(298)1111(代表)　FAX 029(298)6287　MAIL gikai@city.naka.lg.jp　URL https://www.city.naka.lg.jp/